

## 【ステンレス製密着コア専用】

# 挿入機MY-A型 呼び径 20,25 取扱説明書 <前澤給装工業株式会社製 サドル付分水栓 AS 形専用>

本製品は前澤給装工業株式会社製水道用サドル付分水栓 AS 形（以下、サドル付分水栓という。）に前澤給装工業株式会社製ステンレス製密着コア（以下、SUS 密着コアという。）を施工する為の専用挿入機です。ご使用前に、よくお読みになり内容をご理解の上作業を行って頂くようお願い申し上げます。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、障害または物的損害が発生する可能性があります。

### ⚠️ <<安全に関する注意>>

- ・安全のルール（作業場所における諸規定）を遵守して下さい。
- ・保護具（軍手、安全靴、ヘルメット等）を必ず着用して下さい。
- ・本製品は、分解・改造しないで下さい。

### ⚠️ <<ご使用に際して>>

- ・前澤給装工業株式会社製「ステンレス製密着コア」専用の挿入機です。
- ・前澤給装工業株式会社製「水道用サドル付分水栓 “AS 形”」専用の挿入機です。

※1) その他のサドル付分水栓については、別途お問い合わせ下さい。

- ・本製品は「挿入機本体」を共通とし「挿入ヘッド」と「アダプタ」の使用で各呼び径に対応します。
  - ※2) アダプタは、呼び径 20 のみ使用します。呼び径 25 は、サドル付分水栓の上部に挿入機本体を直接取付けます。
  - ・「ロッド」及び「ネジ部」等の可動部に、泥・砂等を付着させないように注意して下さい。
- また、これら可動部を含む各部に変形や破損等の異常を認めた場合は使用を中止して下さい。

### <<特徴>>

- ・挿入機の内部に水圧が掛かる構造(同圧式)を採用している為、水圧で「ハンドル」が飛び上がる心配がありません。
- ・「挿入機本体」に「ストッパー」が付いているので、施工の完了が判りやすい。
- ・従来の挿入機(全ネジ送り式)よりもハンドルの回転数が減り、短時間での施工が可能です。
- ・「挿入ヘッド」への「SUS 密着コア」の取付けは、挿し込むだけの「ワンタッチ式」です。

### <<仕様>>

適用 配水管種	モルタルライニングダクタイル鋳鉄管 エポキシ樹脂粉体ライニングダクタイル鋳鉄管 呼び径：75～350	
	水道用硬質塩化ビニルパイプ 鋼管 (SGP-VB) 呼び径：50～150	
使用流体	水道水（常温）	
最高使用圧力	0.75MPa	
施工に必要な 穿孔キリ径	呼び径 20	φ18.1～18.3mm
	呼び径 25	φ23.1～23.3mm



挿入機MY-A型 呼び径 20,25 セット

### <<準備>>

- ・以下のものを準備します。
- 1) 「挿入機MY-A型 本体」及び「付属品」(写真1)
- 2) 「SUS 密着コア」(写真2)
- 3) (表1)に記載の工具



写真2

表1

工具名	数量	
モータレンチ	1	
モンキーレンチ	1	
片ロスバナ	17mm	1
	19mm	1

※3) 表1に記載の工具は、使用する工具の一例です。

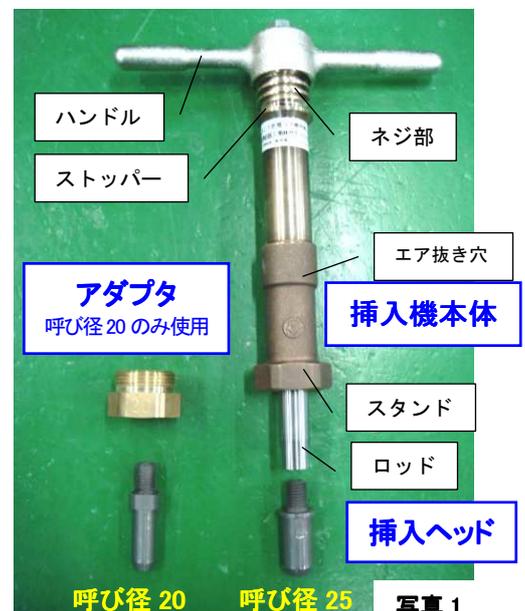


写真1

## 《施工手順》

1. サドル付分水栓の穿孔 及び切粉の排出が確実に終了したことを確認する。
2. サドル付分水栓の取出し呼び径に適合する「SUS 密着コア」「挿入ヘッド」「アダプタ(呼び径 20のみ使用)」を準備する。

3. 適合する「挿入ヘッド」を「挿入機本体」に取付け、工具でしっかり締付ける。(写真3)
4. 適合する「SUS密着コア」を「挿入ヘッド」の根元まで挿し込み装着する。(写真4)

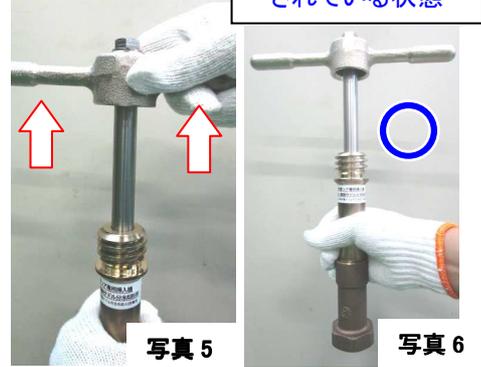


- △「挿入ヘッド」から「SUS密着コア」が落下しないことを必ず確認して下さい。
- △「挿入ヘッド」と「SUS密着コア」に付着物及び変形等がないことを必ず確認して下さい。

5. 「挿入ヘッド」を「挿入機本体」の最上部まで確実に引き上げ収納する。(写真5) この時「ハンドル」が最上部で固定され、降下して来ないことを必ず確認して下さい。(写真6)

- △「ハンドル」が「挿入機本体」の最上部から自重で降下する場合は、メンテナンスの対象です。

6. 呼び径 20 のみ「アダプタ」を使用する。サドル付分水栓の穿孔機取付口に「アダプタ」を工具でしっかり締付ける。(写真7)



7. 呼び径 20 は、「アダプタ」の上部に「挿入機本体」を工具でしっかり締付ける。呼び径 25 は、穿孔機取付口の上部に「挿入機本体」を工具でしっかり締付ける。

8. サドル付分水栓を工具でゆっくりと“全開”にする。(写真8)

- △サドル付分水栓が全開でない場合、挿入作業中に「挿入ヘッド」や「SUS密着コア」がサドル付分水栓の弁体と接触し、破損してしまう恐れがあります。

- △急激な開閉や無理な操作はしないで下さい。

- △サドル付分水栓の給水管取出口は必ず閉栓キャップで塞いだ状態で施工して下さい。水を流しながらの施工は止めて下さい。

9. “ネジに接触する”まで「挿入機本体」の「ハンドル」をゆっくりと垂直に押し下げる。(写真9)

- △ハンドルに水圧の抵抗を感じた場合、又は挿入機本体に漏水(エア抜き穴からの著しい水噴き出しを含む)がある場合は、メンテナンスの対象です。

10. 「ハンドル」を右回転して“ネジをかみ合わせ”ネジがストッパーにあたり止まるまで、更に「ハンドル」を回して(目安:約 3.5~4 回転)「SUS密着コア」を押し込み装着する。(写真10)

- △穿孔部の状態によっては、ネジが「ストッパー」にあたり止まるまで「ハンドル」を回せない場合があります。「ハンドル」が回らなくなった所で装着作業は終了し、過度な押し込みは止めて下さい。

11. 「ハンドル」を左回転して“ネジのかみ合わせを外し”垂直にゆっくりと引き上げ「挿入ヘッド」を最上部まで上昇させる。(写真11)

- △「挿入ヘッド」を最上部まで引き上げないと、サドル付分水栓が閉栓できませんので、確実に行って下さい。

12. サドル付分水栓をゆっくりと閉じる。
13. 「挿入機本体」「アダプタ」及び給水管取出口の閉栓キャップを外し、サドル付分水栓の上部に閉栓キャップを取付ける。閉栓キャップは工具を使用してしっかりと締付ける。
14. 「挿入機本体」から「挿入ヘッド」を取外す。
15. 「挿入機本体」「挿入ヘッド」「アダプタ」及び使用した工具の汚れや水分等を十分にふき取り、保管する。



■お問い合わせ・ご用命は、各営業所へ。

No. M1028 2019. 10

前澤給装工業株式会社

<http://www.qso.co.jp>

※この取扱説明書は、製品改良のため予告なく変更することがあります。